



SPORT&MEDICINE

#1ドーピングって なんだろう

記事2021-1 | 薬剤師/スポーツファーマシスト 相原美穂 |

オリンピックや競技大会を観ていると、時々“ドーピング違反”というワードを耳にすることがあるかと思います。そんな普通に生活している人にとってはなんだかよくわからない「不思議ワード」について、まずはお話しします。

自己紹介

スポーツファーマシストとして、2018年より薬局に勤務しつつトレーニングジムでアンチドーピング活動をしています。

健康増進・スポーツ競技に取り組む・サポートする・応援する すべての人を尊敬しています。

自分にできることを考え、貢献していきます。

趣味 | マラソン ウェイトリフティング





ドーピングってなんだろう

「ドーピング」と聞いて、多くイメージするのは“競技力を上げるため、特殊な方法で手に入れるもの”でしょうか。

もちろんそれもドーピングの1つですが、治療に使われる医薬品等にも該当するものがあります。

そのため、アスリートが知らずにドーピング対象薬品を使用してしまうケースが起こり得ますし、サプリメントにも注意が必要です。

『うっかりドーピング』とよく表現されます。

<目次>

- I. フェアでクリーンなスポーツ
 - II. ドーピング対象はどのように決まるのか？
-

フェアでクリーンなスポーツ

日本アンチドーピング機構（JADA）は“FAIR PRIDE /フェアネス”を掲げ、「勝利を超える価値」「正々堂々と競い合う潔さ」「相手をリスペクトすることで生まれる友情・感動」など、まっすぐ挑戦し続ける姿勢をもってスポーツ競技にとどまらず“社会のフェアネス”をも支えようと謳っています。

“勝利することだけが目的ではなく、そこに至るまでの手段・道りにおいてもフェアであらう”という精神を感じ、とっても好きな言葉です。

そんなアスリートの姿にスポーツを楽しむ子供たちは憧れ、観戦し応援する多くの人々の心を動かすのだと思います。

これは世界中のアスリートたちの共通認識であり、ドーピングを行うと自身の健康を損なうリスクはもちろん、この精神・ルールから外れてしまうため厳しい処罰を受けます。

これが、ドーピング違反が厳しく対処される理由です。

ドーピング対象はどのように決まるのか？

毎年1月1日に、世界アンチドーピング機構（WADA）から“世界アンチドーピング規程（World Anti-Doping Code）”の改定版が発効されます。

フェアでクリーンなスポーツを守り、参加するアスリートの権利を守る共通ルールになります。それに追従してJADAから翻訳され日本事情に合わせた説明が追記された“日本アンチドーピング規程（Japan Anti-Doping Code）”が発効されます。英語に馴染みがなくても情報は得られます。

サイト内には、アスリート自身がドーピング周辺知識を得るための多くの情報が用意されています。

どの競技においても使えない薬品分類もあれば、特定の競技に参加するアスリートだけが使えない薬品分類もあります。

自身の競技に当てはまるドーピング対象をチェックし、情報更新していく事がとても大切になります。

ここで、

「もし病気や怪我をして、治療薬がドーピング対象だったら競技大会にはでられないの？」
と思うかもしれませんが、

大丈夫。

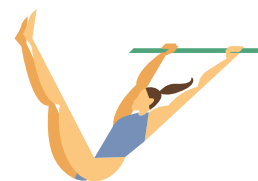
正当な治療を受けながら、競技を続けるための手段が用意されています。

それについては、また次回に >>>

2021-1 薬局日記#1

とある店舗の休憩室には、懸垂スタンドがあります。

ほぼ誰も懸垂はしませんが、ぶら下がって肩こり解消には役立っています。



参考文献

JADAアスリートサイト「PLAYTRUE」<<https://www.realchampion.jp/>>（最終閲覧日2021/1/25）

公認スポーツファーマシスト ～スポーツの価値を守るアンチ・ドーピング活動～

<<https://www.sp.playtruejapan.org/>>（最終閲覧日2021/1/25）